

Brookhaven National Laboratory (United States) での短期滞在を終えて

物理学専攻 博士 2 年 早田智也

平成 26 年 3 月 12 日から 22 日まで、アメリカ合衆国の Brookhaven National Laboratory (BNL)、原子核理論研究グループに、ALPS 海外派遣制度を兼ねて滞在した。BNL では、ホストである出淵教授と議論するとともに、滞在期間中に BNL で開催されたワークショップに参加した。ワークショップでは、自分の最近の研究について発表する機会を持つことができた。ワークショップ後には、自分の研究内容について、McLerran 教授と細部に至るまで深く議論することができた。McLerran 教授は、QCD 相図の理論研究の第一人者であり、彼との議論は今後の研究の進展に非常に有益であった。

今回の短期滞在中を通して、海外の研究者と議論することの重要性を感じ、改めてそのための語学力を磨く必要があることを確認した。この場を借りて、滞在中にお世話になった、出淵教授および現地の研究者、職員の方々に深く感謝いたします。

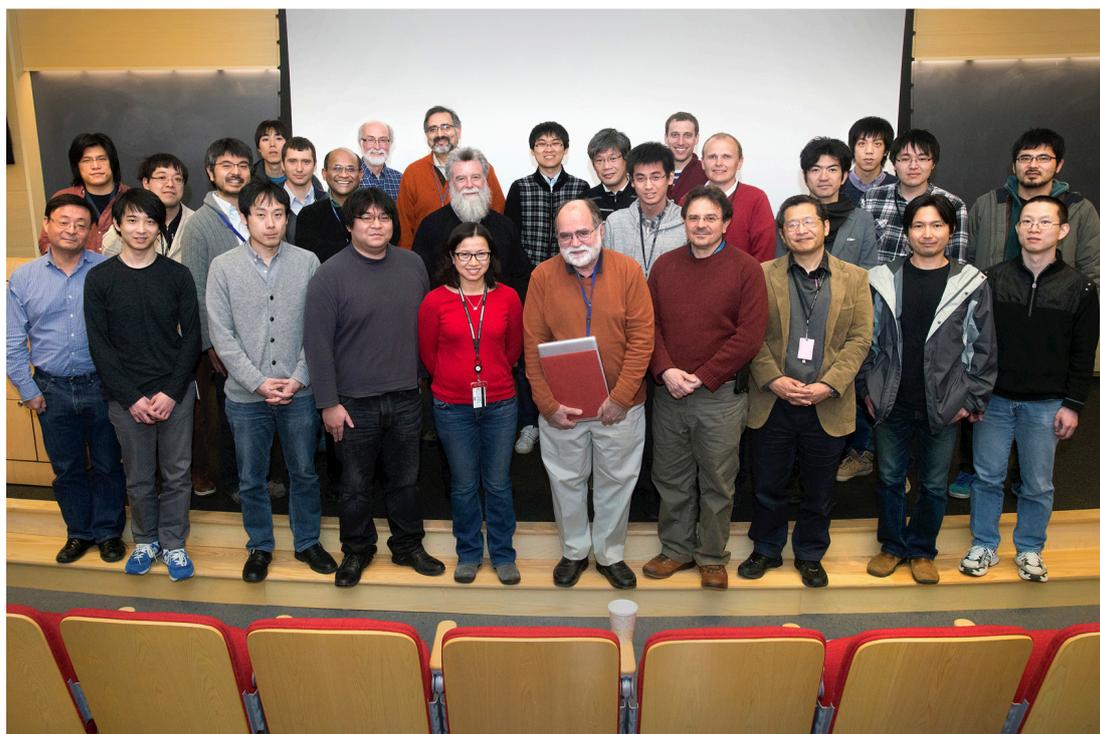


図 1: BNL のワークショップで撮られた集合写真。